関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類をへい死させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で細胞 417/ml 確認されました。昨日の調査では、**栄喜(71 細胞/ml)、シラハエ漁場(333 細胞/ml)、一切田(419 細胞/ml)、ショウジョウバエ(220 細胞/ml)、青瀬山(118 細胞/ml)においてもコクロディニウム ポリクリコイデスが確認されています。**

また、昨日最も細胞数が多かったヒロウラにおいて、赤潮防除剤である入来モンモリの散布を行っております(散布による効果については別表参照)。

今後、餌止めを実施するなど、飼育魚の管理には十分に注意してください。また、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日は、海水 1m/でプランクトンの検鏡を実施しております。)

調査時間	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ギムノディニウム カテナータム	アレキサンド リウム属	ミリオネクタ ルブラ
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/ <i>l</i>)	*1	*2	*3	
ヒロウラ(別図①)	2	_	_	-	337	0	0	0
透明度∶−m	2	-	-	-	132	0	0	0
採水時間:9:30	2	_	_	_	417	0	0	0
	2				53	0	0	0
	2				40	0	0	0
	2				266	0	0	0
	2				95	0	0	0

*1: 魚類をへい死させる恐れがある種 *2: 魚類を弱らせる可能性がある種

*3:麻痺性貝毒の原因種

